

|                 |
|-----------------|
| 和歌山県教育委員会       |
| 資料提供            |
| 令和6年11月1日 14:00 |

## 県立博物館でスポット展示 「南画なんがってなあに？」を開催します

県立博物館2階無料コーナーにて、江戸時代に流行した絵画スタイルの「南画ぶんじんが（文人画）」についてわかりやすく紹介するスポット展示をおこないます。江戸時代の和歌山では、南画を得意とし、全国的にも大きな影響を与えた画家が次々と現われました。本展は、和歌山で多くの門人を育てた野呂介石のろかいせきとその弟子濱口灌圃はまぐちかんぼの作品を展示します。こころ洗われる南画の世界と、その背景に広がる文化や自然に親しんでいただければ幸いです。

1. 展示名 スポット展示「南画ってなあに？」
2. 会期 令和6（2024）年11月2日（土）～11月24日（日）
3. 休館日 月曜日 ただし、11月4日（月・祝）は開館し翌5日（火）は休館
4. 会場 和歌山県立博物館 2階 文化財情報コーナー  
（和歌山市吹上1-4-14〔和歌山城・南側〕、TEL. 073-436-8670（代））
5. 開館時間 午前9時30分～午後5時（入館は閉館の30分前まで）
6. 料金 無料（同時開催の特別展は有料）
7. 同時開催 世界遺産20周年記念特別展「聖地巡礼—熊野くまのと高野こうや—」  
第Ⅲ期「人・道・祈り—紀伊路・伊勢路・大辺路をゆく—」  
開催中～11月24日（日）まで
8. 関連展示 和歌山県立近代美術館・田辺市立美術館・熊野古道なかへち美術館  
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念特別展  
「仙境せんきやう 南画の聖地ここにあり」 開催中～11月24日まで

※7，8の展示を、本スポット展示とあわせてご覧いただくことで、南画や和歌山の文化をより深く知ることができます。ぜひご鑑賞ください。

※詳細は裏面をご覧ください

|          |                                 |
|----------|---------------------------------|
| （連絡先）    |                                 |
| 和歌山県立博物館 |                                 |
| 担当課      | 学芸課                             |
| 担当者      | 学芸員 袴田舞                         |
| 電話       | 073-436-8684（学芸課）               |
| E-Mail   | admin@hakubutu.wakayama-c.ed.jp |

## スポット展示「南画ってなあに？」詳細

※画像提供できます。表面メールアドレスに、その旨ご連絡下さい。

### ☆南画<sup>なんが</sup>って何？

南画<sup>なんが</sup>(文人画<sup>ぶんじんが</sup>)とは、江戸時代の日本人にとって憧れの文化大国であった中国から伝わった、当時最新の芸術スタイルのひとつです。文人画は高い教養と精神性を持つ中国の「文人」が描いた絵画のことで、そのなかでも、特に柔らかい筆づかいで描かれた「南宗画<sup>なんしゅうが</sup>」の様式を目指して、日本で独特の発展を遂げた分野が南画(文人画)とよばれました。

### ☆和歌山と南画

和歌山県の前身である紀伊国<sup>きいのくに</sup>では、江戸時代、南画(文人画)と呼ばれる絵を描いた画家が多く活躍しました。和歌山県立博物館では開館以来、紀州三大文人画家とよばれる祇園南海<sup>ぎおんなんかい</sup>、桑山玉洲<sup>くわやまぎょくしゅう</sup>、野呂介石<sup>のろかいせき</sup>や彼らの弟子の作品を収集しています。

### ☆世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年と南画

南画(文人画)の題材の多くは、山や川といった自然景観をモチーフにした「山水図<sup>さんすいず</sup>」です。豊かな山海に恵まれた紀伊国は、江戸時代以来、多くの南画に描かれました。

今年は、博物館で記念特別展「聖地巡礼<sup>せいちじゅんれい</sup>」を開催するとともに、となりの県立近代美術館でも、和歌山の自然に触発された近代の南画を紹介する特別展を開いています(「仙境<sup>せんきょう</sup> 南画の聖地ここにあり」開催中～11月24日まで。県内の田辺市立美術館・熊野古道なかへち美術館と連携)。

このスポット展は、「聖地巡礼」展および「仙境」展によせて、当館の南画(文人画)コレクションを公開し、絵画に親しむきっかけとなることを願って開催するものです。

### 【展示資料】

#### ①山と水辺の風景をえがいた掛軸<sup>かけじく</sup>

(「山水図」濱口灌園筆<sup>さんすいず はまぐちかんぼひつ</sup>) 和歌山県立博物館蔵 1幅<sup>いつぶく</sup>



#### ②石や山の絵をえがいた巻物<sup>まきもの</sup>(「石譜図巻」野呂介石筆<sup>せきふずかん のろかいせきひつ</sup> 部分)

和歌山県立博物館蔵 1巻<sup>いっかん</sup>

